



## 豪雨対策について

公明党 戸澤 幸雄

問 本年8月1日には、神奈川県内を中心に局地的に激しい大雨が降り、海老名市でも1時間に120㍉という豪雨に見舞われ、目久戸川は氾濫危険水位を超える事態となりました。東柏ヶ谷地区、また北部地区において床上浸水や道路の冠水の被害が発生いたしました。

市の豪雨災害に対する対策の現状と今後の計画について伺います。

答 (市長) : 豪雨対策につきまして、市では最悪の状況を想定し対策に当たっております。先日の台風21号につきましても、30カ所の避難所を初めて開設するなど、全庁を挙げて市民の皆様の安全・安心の確保に取り組んでまいりました。

答 (市長室長) : 台風など予測可能なものにつきましては、事前に防災行政無線などを活用し、浸水対策などの準備ができるよう注意喚起を行っています。

浸水防止対策のため土のうを約4千袋準備をしており、職員により要望があった市民のお宅に配布や設置、また設置のご指導もしております。

屋外に避難することが危険な場合などは、2階以上に避難するなど啓発強化を図ってまいります。

答 (建設部次長) : 雨水対策につきましては、道路冠水が発生している地区から、1時間当たり50㍉の降雨量に対応した

整備を進めています。現在は、国分・河原口・社家地区を中心

に進めていますが、今後は新たに今里地区の事業化に向けて、調整を開始しています。

その他の質問

- ・市内経済の活性化について



初めて30カ所を開設



## 学校教育について

日本共産党 佐々木 弘

問 これまでわが会派が求めてきた就学援助制度の運用の全面的改善と水準の向上を大いに評価し、期待もしています。「新入学児童生徒学用品費等」について、今年度の中学校入学予定者への対応に続き、来年度の小学校入学予定者に対しても、入学前、つまり今年度中の、可能な限り早い時期に前倒しで支給する対応に踏み出すべきと考えますが、考え方伺います。

答 (教育長) : 議会からの要望を受け検討を重ねてきましたが、今年度から翌年度の新1年生に対して、入学前の2月末に支給したいと考えています。

問 11月の「総合教育会議」で、「全国学力テスト（全国学力・学習状況調査）」に関して「広く説明責任を果たす必要がある」という趣旨の発言がありました。今後、本市では学校ごとの結果数値を公表するのか、考え方伺います。

答 (教育部参事) : 各校が、成果や課題を冊子にして自校の保護者に配布しています。市教委としては、学校ごとに数値を公表し比較するといったことは考えていません。

問 同じ会議で、「これまで進めてきた少人数学級・指導の効果を検証していく」という趣旨の発言がありました。

今後、従来の少人数学級編成や少人数指導を取りやめたり、対象となる学年・クラスを縮小することもあり得るのか、考え方伺います。

答 (教育長) : 今年度で小学校の約9割、中学校の約8割のクラスが35人以下の少人数学級になっています。今後もこの体制を継続していきたいと考えています。

その他の質問

- ・住宅および住環境施策について



議論が続く総合教育会議



## ゴミ有料化について

じちざの会 西田 ひろみ

問 積極的なまちづくりに伴い人口・事業所数の増加により、2015年度以降本市のゴミ排出量は増加しています。循環型社会を促進し、持続可能な社会へゴミ減量は重要な課題であることから、ゴミ施策について現状をどのように捉え、今後の対策へと結びつけていくか、見解を伺います。

答 (市長) : ゴミの減量化は喫緊の課題と捉え、環境審議会にゴミ減量化策について諮問し、家庭系ゴミの減量化策（有料化、戸別収集含む）についての中間答申を受けました。今後、さらに市民や事業所の意見を踏まえて、十分に検討していきたいと考えています。

問 有料化はゴミ減量化策として有効な手段と考えますが、有料化導入の前に解決すべき課題があります。市のゴミ排出量の増加は事業系ゴミの急激な増加によるところから、事業系ゴミの減量化・資源化対策を明確にし、ゴミ処理に費用や手間を掛けることが困難な小規模事業所には特定有料ゴミ袋で市が回収することが必要です。

また、本市の一人1日当たりのゴミ排出量は座間市・綾瀬市と比べ少なく、毎年減少しています。市政アンケートでは、ゴミ減量化・リサイクルに有効な方法の1位は分別の徹底77.8%、有料化導入は5位11.8%で、市民の有料化への意識は低い状況です。有料化を進めるためには、市民への十分な説明と理解を得ることが必要と考えますが、見解を伺います。

答 (経済環境部長) : 事業系ゴミ対策は、環境審議会事業系ゴミ専門部会で総合的に審議を行っていきたいと考えています。

答 (市長) : 市民への説明は、59自治会に対しても複数回行うぐらいの意気込みで理解を得るよう努めます。

